

## TCP-D551

UHF デジタル簡易無線電話装置（登録局）

## 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。  
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド

B5A-1190-10 (J)



## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

## JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル

0120-2727-87

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル

0570-010-114

一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は

045-450-8950

FAXを送信される場合は

045-450-2308

住所 〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）

月～金曜日 9：30～18：00

土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30

## 安全上のご注意

## 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## △危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

## △警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## △注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをACコンセントから抜く）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## △危険

## 使用環境・条件

△引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

△運転しながら本機を操作（通信）するのをおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通信）してください。

## 充電池（バッテリー・パック）の取扱について

充電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

△充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。

△充電温度範囲は、5°C～40°Cです。この温度範囲以外では充電しないでください。

△専用充電台以外では充電しないでください。

△本機以外の機器に取付けないでください。

△火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。

△端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

△液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

△液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

## △警告

## 使用環境・条件

△電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害による機器の故障・誤動作の原因となります。

△空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認した上でご使用ください。

△本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

## 使用方法について

△エアパック装置の近くでは無線機を置かないでください。エアパック装置が動作したときなど無線機が体に当たって怪我をすることがあります。

△機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

△本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

株式会社エクセル 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5 お問い合わせ総合ダイヤル: 03-3662-0551 / URL: https://www.exseli.com/

## 保証とアフターサービスについて

## 保証書（別添）

この製品には、保証書（別添）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよく読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より2年間です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」（下記）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切ったり、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお探し下さいますようお願いいたします。また、本機の故障・誤動作・不具合などによってお電話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異常の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

## 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

## 修理料金の仕組み（有料修理の場合は下記の料金が必要です）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部品などを含む場合があります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。	電池の容量が低下している。	充電池を充電する。
	充電池を交換する。	
	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にする。
● 通話ができない。	相手局と通信方式が違っている。	アナログ通信方式とデジタル通信方式では交信できません。種別コード3Rの無線機を使用する。
●【電源／音量】を回しても音が出ない。	相手局とユーザーコード(UC)が違っている。	同じユーザーコード(UC)にする。
	相手局と秘話設定が異なる。	相手局の秘話設定と合わせる。
	受信している。	チャンネルを変更するか、LEDの緑点灯が消えるのを待つ。
送信ができない。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。
	タイムアウトタイマー（連続送信防止機能）が働いている。	タイムアウトタイマーが機能した場合は、送信禁止時間が経過するのを待つ。
秘話設定やユーザーコード（連続送信防止機能）ができない。	呼び出しチャンネル「呼出15」になっている。	CH 1～CH 14、CH 16～CH 30を使用する。
チャンネルが切り替わらない。	キーロックになっている。	キーロックを解除する。

# ご使用の前に

## 説明上の注釈について

- このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。
- このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

## 電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、デジタル簡易無線電話装置です。本機を分解・改造して使用すること、また本機裏面の技術基準適合証明ラベルを剥して使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機では、付属のアンテナ以外に技術基準適合証明等で認証を受けたアンテナもご使用いただけます。
- 登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- 他の通信を開いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線局の登録（包括登録の場合には開設の届出）が行われますと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されて来ますので、納付期限内に電波利用料を納付してください。
- 登録局の有効期間は、登録の日から5年間です。再登録の申請は、登録の有効期間満了の3ヶ月前から1ヶ月までの期間内に手続きを行ってください。
- 再登録を行わずに本機を使用しますと、「電波法第110条」により、「1年以下の懲役又は百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- その他、必要に応じて下記の手続きを行ってください。
  - 登録状の記載事項に変更が生じる場合（変更登録）
  - 登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合（再交付申請）
  - 登録局を廃止した場合（廃止届出）
  - 友人などに登録局（無線機）を貸出した場合（無線局の運用の特例に係る届出）
- 申請および届出の手続き、技術基準適合証明書等で認証を受けたアンテナについて、お買い上げの販売店にお問合せください。

## 運用上の注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。

## 使用上の注意

- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えることがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数でご使用いただく場合、近距離（約10m以内）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、妨害を与えて受けたりする場合があります。
- 通話できる距離は地形や環境（天候や建物などの障害物）によって、送受信にくくなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 目安は下記の通りです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。

※送信出力 5W 出力時

- 市街地：0.5km～1km
- 見通しのよい場所：1km～4km

### 取扱説明書の記載内容について

販売店において、各種設定をお客さまに合わせて変更している場合があります。この場合は、各種操作方法や設定項目、表示部の表示内容などが本書の説明と異なることがあります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

### 免責事項について

本機の故障・誤動作などにより、利用の機会（通話など）を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

### 音声圧縮（符号化）方式について

米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用し、本機はAMBE+2<sup>TM</sup>に対応しています。  
The AMBE+2<sup>TM</sup> voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The use of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,199,037, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

## 防塵 / 防水性能について

本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 防水保護IP67相当の防塵 / 防水性能を備えていますが、実際のご使用にあたって、全ての状況で防塵 / 防水を保証するものではありません。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてからナットで固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）を挟んでいないか、ご確認ください。
- 石鹼水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- 本機が満水しているときは防水カバーを開けないでください。
- オプションを接続するときはプラグを確実に固定してください。
- オプション自体の防塵 / 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電端子やACアダプターは防塵 / 防水性能ではありません。本機が満水している状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵 / 防水性能に影響を与える場合があります。

## 本機の付属品

アンテナ	1
保証書	1
取扱説明書（本書）	1

## バッテリーパックについて

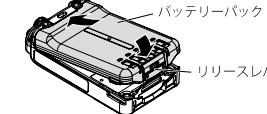
本器に使用できる充電式バッテリーパックは下記です。

- KNB-74L.....リチウムイオンバッテリーパック(1100 mAh)
- KNB-75L.....リチウムイオンバッテリーパック(1800 mAh)

## バッテリーパックの取り付け / 取り外し(別売品)

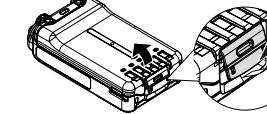
### バッテリーパックの取り付け

バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、リリースレバーを本体にロックさせます。



### バッテリーパックの取り外し

バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します。



- ◆ バッテリーパックを取り外す際は、無線機本体やバッテリーパックを落さないように注意してください。

### バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充電したり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えてても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってしまった場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電／放電を繰り返すと、漏洩の原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

### バッテリー使用時間の目安(Typ值)

送信出力 5W で、送信 5/受信 5/待受け 90 の比率にて連続運用した場合  
\*() 内はバッテリーセットの設定

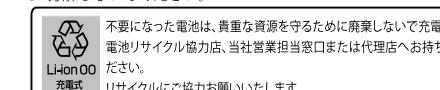
- KNB-74L：約9時間(ON)/約7時間(OFF)
- KNB-75L：約15時間(ON)/約11時間(OFF)

### バッテリー残量警告

バッテリーの容量が減ると、表示部の「」が点滅して知らせます。送受信 LED が赤に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

## 使用済み充電池の取扱い注意事項

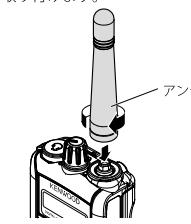
- プラス子端子をマイナス子端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



- ◆ バッテリーパックは出荷時には満充電ではありません。お使いになる前に必ず満充電にしてご使用ください。
- ◆ 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- ◆ バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、分解しないでください。

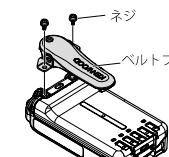
## アンテナの取り付け

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



## ベルトフックの取り付け

ベルトフック KBH-20 と本体のネジ穴を合わせて、ベルトフックに付属のネジで取り付けます。ベルトフックを本体のネジ穴に合わせて、ネジで緩まないようにしっかりと取り付けてください。

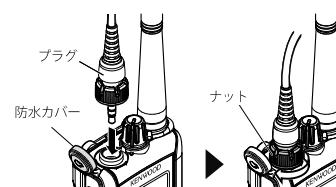


- ◆ 付属以外のネジを使用しないでください。
- ◆ ネジの緩みがないか時々確認してください。

## オプション機器の接続

イヤホン／マイクロホンなどを接続します。

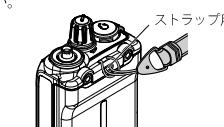
防水カバーを外して、無線機の接続端子にオプション機器のプラグを差し込み、プラグのナットを時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



- ◆ 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
- ◆ プラグの差し込みが不十分な場合、電源を入れたときに警告音が鳴り「コネクタ異常」と表示されます。
- ◆ 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
- ◆ オプション一覧に記載している専用品を接続してください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因になります。
- ◆ プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかりと持つて取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。

## ストラップの取り付け

市販品のストラップを取り付けるときは、無線機背面のストラップ用穴を使用してください。



- ◆ ストラップを持って無線機を振り回さないでください。故障やけがの原因となります。

## オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

- KNB-74L.....リチウムイオンバッテリーパック(1100 mAh)
- KNB-75L.....リチウムイオンバッテリーパック(1800 mAh)
- KBP-9.....バッテリーケース(アルカリ単4電池×6本、防水)
- KSC-256.....6連急速充電器
- KSC-45LCR.....連続充電台
- KSC-45LSL.....KSC-45LCR 4連用 ACアダプター
- KSC-47L.....急速充電器
- KMC-55.....スピーカーマイクロホン(防水)
- EMC-13.....イヤホン付きクリップマイクロホン(インナーイヤータイプ、ライトユース)
- EMC-14.....イヤホン付きクリップマイクロホン(耳掛けタイプ、ライトユース)
- EMC-15.....イヤホン付きクリップマイクロホン
- KHS-37.....ヘッドセット(耳掛けタイプ、ライトユース)
- KEP-6.....イヤホン(イヤーハンガー付き)
- KBH-20.....ベルトフック
- KLH-203.....ハードケース
- KSB-1.....ショルダーベルト

- ◆ バッテリーケース KBP-9 使用時の送信出力はローパワー(1W)になります。
- ◆ 本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

## 仕様

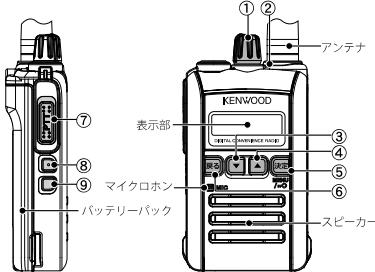
送信出力	5W/1W
チャンネル数	30ch + 5ch (受信専用上空用)
周波数	許可された 351 MHz 帯
電波型式	F1E, F1D, F1F
使用電源	7.4 V DC ± 10 %
外形寸法(突起物含まず)	幅 × 高さ × 奥行き 56 × 92 × 24.6 mm (KNB-74L 装着時) 56 × 92 × 29.4 mm (KNB-75L 装着時)
外形寸法(突起物含む)	59.2 × 108.9 × 28.2 mm (KNB-74L 装着時) 57.3 × 108.9 × 29.6 mm (KNB-75L 装着時)
質量(アンテナ、ベルトフック、バッテリーパック含む)	222 g (KNB-74L 装着時) 254 g (KNB-75L 装着時)
アンテナ端子(本体)	SMA-J
防塵・防水性能	IP54/55/67 相当

※仕様は予告なく変更することがあります。

※本製品は種別コード3Rの無線機です。

# 各部の名称と機能

## 操作キー/ツマミ



### ①【電源/音量】

電源のON/OFF、および音量を調節します。

### ②送受信LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。  
選択呼出し受信のときはオレンジ色に点滅します。

### ③【▼】

●押すとチャンネル番号が下がります。  
●押し続けるとチャンネルスキャンを開始します。

### ④【▲】

●押すとチャンネル番号が上がります。  
●押し続けるとオートチャンネルセレクトを開始します。

### ⑤【決定】

●押すと簡易メニューを表示します。  
●押しながら電源を入れると拡張メニューを表示します。  
●押し続けるとキーロック機能がON/OFFします。

### ⑥【戻る】

チャンネル表示のときに押すとCH15の呼出しチャンネル(ダイレクトチャンネル機能)に切り替わります。

### ⑦【PTT】

押すと送信されます。押したままマイクロホンに向かって話します。

### ⑧【サイド1】

●押すと表示しているチャンネルのスキャン対象/非対象を切り替えます。  
●押し続けると送信出力が切り替わります。

### ⑨【サイド2】

セカンドPTTチャンネルが設定されている場合は、押すとセカンドPTTチャンネルを表示、押し続けるとそのチャンネルで送信します。

- ◆各キー動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。
- ◆選択呼出し機能を使用するには販売店にて設定が必要です。

## 表示部



### サブ表示

表示チャンネルの状態などを表示します。

### メイン表示

チャンネル番号などを表示します。

出荷時の設定で表示されるアイコン

### アイコン 説明

受信している電波の強さを表示します。  
Tall : 強 Tall : 中 Tall : 弱 Tall : 微弱

バッテリー容量の残量を表示します。  
High : 高 Medium : 中 Low : 低 Critical : (点滅) : 要充電

点滅：スキャン中。  
点滅：スキャン一時停止。

表示しているチャンネルがスキャン対象のときに表示します。

オートチャンネルセレクト中に表示します。

秘話機能がONのときに表示します。

送信出力を表示します。  
H: ハイパワー出力 (5W)  
L: ローパワー出力 (1W)

上空チャンネル(受信専用チャンネル)時に表示します。

セミVOX機能がONのときに表示します。

キーロックがONのときに表示します。

イヤホンモードがONのときに表示します。

PTTホールド機能がONのときに表示します。

セカンドPTT機能がONのときに表示します。

音量アッテネーター機能がONのときに表示します。

販売店でのオプション設定により下記のアイコンを表示することができます。

### アイコン 説明

モニター機能がONのときに表示します。

メッセージの受信履歴(スタックデータ)を表示します。

点滅：受信履歴に既読のメッセージがあります。

点滅：受信履歴に未読のメッセージがあります。

プライオリティチャンネルが設定されているときに表示します。

サイレントアラーム機能がONのときに表示します。

サイレントアラーム動作中に受信があったときに点滅します。

### アイコン表示位置

アイコンは下記のように7列に表示されます。また、上位列のアイコンほど表示の優先度が高くなります。

1	2	3	4	5	6	7
Tall	#2	PH	◆	Q	■	Tall
P	P	V	J	AC	-	H/L
M	M	■	■	■	-	R

# 操作のしかた

## 操作説明について

- 本取扱説明書の操作説明は出荷時に設定されている機能を説明しています。
- 販売店でのオプション設定により、機能は追加/変更できます。詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください。

## 通話する

### 1 【電源/音量】を時計方向に回して電源を入れる

「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源/音量】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。

### 2 【▲】/【▼】を押してチャンネルを合わせる

通常のチャンネルで通話する  
通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。



### 呼出しチャンネルで通話する

15チャンネルを選ぶと「呼出15」と表示されます。このチャンネルは、不特定多数の人との通話を含め、一時的な呼び出しチャンネルとなっており、継続的な通話の場合は、別のチャンネル(CH1 ~ 14、16 ~ 30)に切り替えてから通話してください。



◆呼出しチャンネル(呼出15)ではユーザーコード(UC)や秘話機能などを設定した通話ができませんので注意ください。

相手局の電波を受信すると、送受信LEDが緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

### 3 【電源/音量】を回す

右(時計方向)に回すと音量が大きく、左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。

### 4 【PTT】を押す

送信状態になり、送受信LEDが赤色に点灯します。

### 5マイクロホンに向かって話す

【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から3~4cm程度離してください。【PTT】を離すと待受受信状態に戻ります。

### 6【PTT】を押す

送信状態になり、送受信LEDが赤色に点灯します。

### 7マイクロホンに向かって話す

【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から3~4cm程度離してください。【PTT】を離すと待受受信状態に戻ります。

### 8【決定】

キーを操作すると表示部と前面キーの照明が5秒間点灯します。

### 9タイムアウトタイマーについて

連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して5分以上の送信はできません。5分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。

この場合1分以上経過しないと再度送信することはできません。

### キャリアセンス(混信防止)について

送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。送信しようとするチャンネルが他の局に使われているときに【PTT】を押すと、警告音が鳴り、表示部に「ビー」と表示されます。他の局が通話を終了してから送信してください。

## 送信出力切り替え

送信出力をハイパワー(5W)からローパワー(1W)に切り替えます。1Wで通信距離が十分な場合は切り替えることで電池の消耗を少なくすることができます。また、他のグループへの混信を軽減できます。

### 10【サイド1】を押し続ける

送信出力がローパワー(1W)に下がります。ローパワーのときに【サイド1】を押し続けると、送信出力がハイパワー(5W)に戻ります。

●ハイパワー時は「H」が、ローパワー時は「L」アイコンが表示されます。

### 11【サイド2】を押し続ける

送信出力がローパワー(1W)に下がります。ローパワーのときに【サイド2】を押し続けると、送信出力がハイパワー(5W)に戻ります。

●ハイパワー時は「H」が、ローパワー時は「L」アイコンが表示されます。

## チャンネルスキャン

チャンネルを自動的に変化させて目的とする信号を受信できるチャンネルを探す機能です。ユーザーコードを設定しているときは、ユーザーコードが一致するチャンネルを探します。

### 1 【▼】を押し続ける

「Q」アイコンが表示され、スキャンを開始します。



### 2 【▼】を押す

スキャンが一時停止します。

## スキャン対象チャンネル

名チャンネルをスキャン対象にするか、しないかを選択できます。

### ●【サイド1】を押す

表示しているチャンネルがスキャン対象チャンネルのときに【サイド1】を押すと、スキャン非対象チャンネルになります。  
スキャン非対象チャンネルで【サイド1】を押すと、スキャン対象チャンネルになります。

●スキャン対象チャンネルは、「■」アイコンが表示されます。

## オートチャンネルセレクト

【PTT】を押すと、空いているチャンネルを自動で探し、同じユーザーコードが設定されている受信局も自動的に同じチャンネルへ引き込む機能です。グループが多い場所での混信を緩和します。

### ●【▲】を押し続ける

「AC」アイコンが表示され、サーチを開始します。【PTT】を押すと空いているチャンネルで送信します。



●【PTT】以外のキーを押すと、本機能は解除されます。

## キーロック

操作キーをロックし、ポケットなどに入れているときの誤操作を防ぎます。

### ●【決定】を押し続ける

キーがロックされます。キーロック時は、「■」アイコンが表示されます。キーを操作すると「ロック中」と表示されます。



キーロックしているときに【決定】を押し続けると、キーのロックが解除されます。

## 音量アッテネート

一時的にスピーカーの音量を下げるることができます。(出荷時は本機能は本体キーに設定されていません。オプションマイクロホンKMC-55のリモートキーでのみ操作可能です。)

### ●KMC-55のリモートキーを押す

スピーカーの音量が下がります。再度リモートキーを押すと元の音量に戻ります。

●音量アッテネーター動作時は「■」アイコンが表示されます。

## セカンドPTTチャンネル送信

通常の選択チャンネルとは別に、セカンドPTTチャンネルを設定し専用のPTTキーを配置できます。セカンドPTTチャンネルを設定すると、【サイド2】がセカンドPTTチャンネル専用のPTTキーに設定されます。

セカンドPTTチャンネルを設定すると同時に、通常の選択チャンネル表示中もセカンドPTTチャンネルと交互にスキャンします。受信信号がある場合はそのチャンネルにとどまり音声を聞くことができます。

●セカンドPTTチャンネルは拡張メニューで設定します。セカンドPTT機能をONにすると、「■」が点灯し、スキャンを開始します。

●セカンドPTTチャンネルが受信状態になると、「■」が点滅に変わり、受信したことを探します。

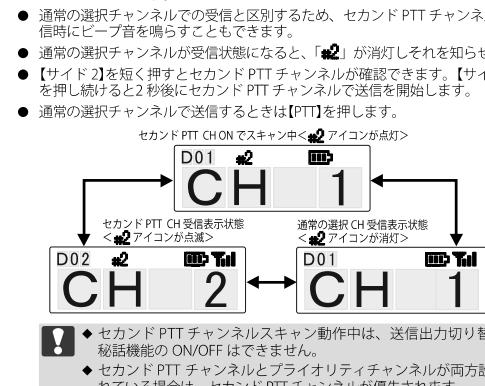
●通常の選択チャンネルでの受信と区別するため、セカンドPTTチャンネルの受信時にピーチ音を鳴らすことができます。

●通常の選択チャンネルが受信状態になると、「■」が消灯それを知らせます。

●【サイド2】を押し続けるとセカンドPTTチャンネルが確認できます。【サイド2】を押し続けると2秒後にセカンドPTTチャンネルで送信を開始します。

●通常の選択チャンネルで送信するときは【PTT】を押します。

セカンドPTT CH ONでスキャン中に「■」アイコンが点灯



# 操作のしかた(続き)

## 簡易メニュー

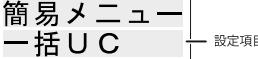
簡易メニューは下記の簡単機能を設定するメニューです。

表示	設定項目	設定値
一括 UC	一括ユーザーコード(UC)	なし / 1 ~ 511
秘話	秘話運用	OFF/ON
上空 CH	上空チャンネル	OFF/ON

## 簡易メニューの表示

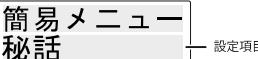
### 1【決定】を押す

簡易メニュー画面に入り、設定項目が表示されます。



設定項目

### 2【▼】/【▲】を押して設定項目を選択する



設定項目

### 3【決定】を押す

設定値選択モードになります。



設定値

### 4【▼】/【▲】を押して設定値を選択する

### 5【決定】を押す

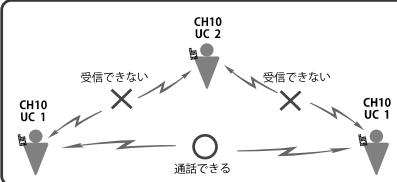
設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。

### 6【戻る】を押す

チャンネル表示画面に戻ります。

## 一括ユーザーコード(UC)

ユーザーコード通信とは、同じチャンネルを複数のユーザーが使用している場合、同じユーザーコードを設定している通話グループの音声だけを聞こえるようにする方式です。



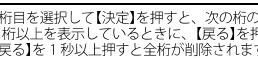
◆呼出しチャンネル(呼出 15)では本機能は使用できません。他のチャンネルを選んでから設定してください。



なし ユーザーコードを使用しません。

1 ~ 511 選択した番号がユーザーコードに設定されます。

- 1桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。
- 2桁以上を表示しているときに、【戻る】を押すと1桁目が削除されます。
- 【戻る】を1秒以上押すと全桁が削除されます。



設定項目

### 5【▼】/【▲】を押して設定値を選択する

### 6【決定】を押す

設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。

### 7 電源を入れ直す

チャンネル表示画面に戻ります。



設定値

## 秘話機能運用

秘話機能の ON/OFF を設定します。

秘話機能は、通信する相手局も秘話機能が ON で、同じ秘話鍵コードが設定されていないと正しく通信できません。

出荷時は秘話鍵コードは設定されていません、拡張メニュー「一括秘話鍵コード」にてコード(1 ~ 32767)を入力してから、秘話機能を ON/OFF してください。



ON 秘話機能が ON になります。

OFF 秘話機能が OFF になります。

- 秘話機能を ON 時は、「◆」アイコンが表示されます。

- ◆ 呼出しチャンネル(呼出 15)では本機能は使用できません。他のチャンネルを選んでから設定してください。
- ◆ 秘話機能を使用しても、電波を使用した通信であるため、第三者による盗聴を完全に阻止できるものではありませんのでご注意ください。

## 上空チャンネル受信

登録局に対する上空利用割当周波数(351.16875 ~ 351.19375 MHz(6.25 kHz 間隔))の5波のS1 ~ S5 チャンネルが受信できるようにする設定です。



OFF 通常の送受信チャンネル選択になります。

ON 上空チャンネル(受信専用)が追加されます。

## 設定後の上空チャンネル選択時表示



- 上空チャンネルは受信専用になります。
- 上空チャンネル受信時は、「R」アイコン(受信専用)が表示されます。

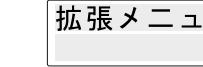
## 拡張メニュー

拡張メニューは無線機の詳細な設定をするメニューです。

## 拡張メニューの表示

### 1【決定】を押しながら、電源を入れる

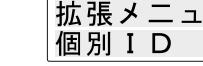
拡張メニュー画面に入ります。



設定項目

### 2 何かキーを押す

設定項目が表示されます。



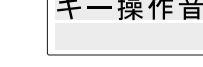
設定項目

### 3【▼】/【▲】を押して設定項目を選択

選択した設定項目の選択リストが表示されます。

### 4【決定】を押す

設定値選択モードになります。



設定値

### 5【▼】/【▲】を押して設定値を選択する

### 6【決定】を押す

設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。

### 7 電源を入れ直す

チャンネル表示画面に戻ります。



設定値

## 拡張メニュー設定項目

表示	設定項目	設定値	説明
個別 ID	個別 ID	1 ~ 65519	選択呼び出し機能を使用する場合に、各無線機に ID 番号(自局 ID)を設定します。
キー操作音	キー操作音	OFF/1 ~ 31/受信音連動	● 1桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。 ● 2桁以上を表示しているときに、【戻る】を押すと1桁目が削除されます。 ● 【戻る】を1秒以上押すと全桁が削除されます。
一括秘話鍵	一括秘話鍵コード	なし / 1 ~ 32767	◆ 選択呼び出し機能を使用するには販売店にて設定が必要です。 ◆ 個別 ID 番号は、他の無線機と重複しないように設定してください。
マイクタイプ	外部マイクロホンタイプ	設定なし / マイク 1 ~ 6	キーを操作したときにビープ音の音量を設定します。数字が大きいほど音量が大きくなります。 「受信音連動」に設定すると【電源 / 音量】の位置と連動して音量が変化します。
受信 AGC	自動音量制御	OFF / 低 / 高	秘話コードを設定します。秘話機能の ON/OFF は簡易メニューで設定します。
送信 AGC	自動マイクゲイン制御	OFF/ON	● 1桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。 ● 2桁以上を表示しているときに、【戻る】を押すと1桁目が削除されます。 ● 【戻る】を1秒以上押すと全桁が削除されます。
受信音特性	受信オーディオイコライザ	フラット / 低域強調 / 高域強調	無線機に接続されるオプションの外部マイクロホンのオーディオ特性を均一化し、デジタル処理に最適な状態に補正することができます。
送信音特性	送信オーディオイコライザ	フラット / 低域強調 / 高域強調	マイク 1 : EMC-13、マイク 2 : EMC-2、マイク 3 : EMC-15、マイク 4 : KMC-55、マイク 5 : KHS-37に対応します。マイク 6 は予備です。
終話告知音	終話告知音	OFF/ON	受信音に強弱がある場合、現在の【電源 / 音量】の位置に応じて自動的に一定のレベルに調整されるため、送信側の小さな音も大きくなるため、送信側が静かな環境のときに使用することをお勧めします。
通話告知音	通話開始告知音	OFF/ON	送信する際の声の大きさや口元からマイクロホンまでの距離などによって、送信音量が大きく変わり、受信側で聞きづらくなってしまうことがあります。この機能を使用すると、マイクロホンの感度が自動的に調整されて、受信側での音声が聞き取りやすくなる効果があります。
外マイク感度	外部マイクロホン感度	-20dB ~ 0dB ~ 6dB	周囲の騒音が大きい場合は、マイクロホン感度の自動調整ができることがあります。このような場合は、なるべくマイクロホンに近づいて大きな声で発声するか、PTT でご使用ください。
内マイク感度	内部マイクロホン感度	-20dB ~ 0dB ~ 6dB	スピーカー・マイクロホン使用時など、外部マイクロホンの感度を変更することができます。2ステップ毎に変更できます。
2nd PTT CH	セカンド PTT チャンネル	なし / Channel 1 ~ 30	送信者が【PTT】を離して送信を終了したことを、受信者に音で知らせる機能です。受信者は、送信者が送信を終了したことが音でわかるため、返事や返信がつかみやすくなります。
2nd PTT BEEP	セカンド PTT ピーピ音	OFF/ON	セカンド PTT チャンネル送信時に通常の選択チャンネルと区別するためピーピ音を鳴らします。
2nd PTT TIME	セカンド PTT 時間	2秒 / 5秒 / 10秒	【PTT】を押して送信したときに、通話が可能な状態になったことを送信者に音で知らせる機能です。通話の頭切れを防ぐために使用します。
縦倍角設定	縦倍角メニュー表示	OFF/ON	スピーカー・マイクロホン使用時など、外部マイクロホンの感度を変更することができます。2ステップ毎に変更できます。
イヤホン切替	イヤホンモード	OFF/ON	送信するときは【PTT】を押し続けますが、本機能を ON に設定すると、【PTT】を一度短押しすれば【PTT】を離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】を短押しします。
PTT HOLD	PTT ホールド	OFF/ON	送信中はハンズフリー運用できます。誤送信や頭切れを防ぐため、【PTT】の短押しで送信を開始し、通話中に音声入力がなくなると自動的に送信を終了します。
セミ VOX	セミ VOX	OFF/ON	● PTT ホールドとセミ VOX が両方 ON の場合は、PTT ホールド動作が優先されます。 ● セミ VOX などにより、マイクロホン入力が OFF にならない場合は、【PTT】を短押しで送信を終了します。
電池セーブ	バッテリーセーブ	OFF/ON/eco	電池の消耗を防ぐ機能です。信号を受信するか、キー操作するとバッテリーセーブは一時的に解除されます。「eco」に設定すると、送信出力がローバワーになり、より電池の消耗を防ぎます。
拡張初期化	拡張メニュー設定初期化	はい / いいえ	バッテリーセーブ機能動作中は受信音声が頭切れになることがあります。
全初期化	全設定初期化	はい / いいえ	拡張メニュー設定を初期化すると、拡張メニューで設定されている内容は全て出荷時の状態に戻ります。

## 販売店オプションで追加できる主な機能

- チャンネルごとの UC、秘話・スキャン対象設定、任意のチャンネルネームが設定可能
- ランダムモード機能
- カスタマイズ可能なパワーオンメッセージ機能
- 本体および KMC-55(オプションスピーカー・マイクロホン)のキーカスタマイズ設定
- 選択呼出し機能
- サイレントアラーム機能
- コネクトアンサー機能
- バイブ機能
- バイブモード機能
- モニターモード機能
- エマージェンシー機能
- 簡易メニュー項目設定機能など